新年のあいさつ

茨城県知事　友　末　洋　治

新年おめでとう存じます。

今年は、財政が安定する年

道路がよくなる年

引き続いて豊作の年

新しい村づくり町づくりに精進する年

原子力が勢いよく出発する年

など、あれこれと希望はつきません。とにもかくにも、よい年柄にしたいと心から念じ、正月早々から張り切つてとび出す用意を整えております。

よい年柄にするため、何はさておいても、まず考えておかなければならないたいせつなことは、国際関係ではないかと存じます。日本の国の外では、嵐が激しく吹きまくつております。私どもは、この嵐の余波を是が非でも避けなければなりません。余波の被害を食いとめるには、私ども日本国民が、民族自決の自覚に立つて、これに筋金を入れ、結束をより強めて実力をつちかう以外に道はないと存じます。

まさに、日本民族再出発の年を迎えました。

ここに、県民の皆さまの御多幸と御繁栄とを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつを申し上げます。

新年を迎えて

茨城県統計協会長
茨城県総務部長　木村凡夫

明けましておめでとうございます。

ここに明るい希望に満ちた昭和32年の初春を迎え、皆様の御慶福を心からお喜び申上げます。

さて昨年は戦後初めての国富調査や、隔年ごとに行われる商業調査をはじめ、農業基本調査、工業統計調査、その他各種の調査が実施されましたが、関係各位には諸種の困難な条件をよく克服して特別の御精励と御協力をいただきここに立派な成果を収めることができましたことを心から感謝いたします。

今やわが国をめぐる内外の情勢は、ますます複雑多岐をきわめております。まず外には全国民多年の宿願であつた日ソの国交回復と国際連合への加入を実現して、いよいよ自主独立と国際外交の活路を開き、世界人類の平和と幸福増進に寄与する重大な責任と地位を持つたのであります。また内には2年続きの豊作と鉱工業生産力の増大によつて、今や戦前戦後を通じて最高の伸展を示し、国民生活も次第に安定向上の一途をたどつております。

次に地方自治体にあつては、明治以来最も困難なものとされた町村合併の歴史的大事業も 200万県民各位の理解と献身的努力によつて、昨年秋にはその大部分を完了し、今や地方財政の再建と行政事務の簡素化、能率化を計り、あくまで融和協調の精神を基調として、地域住民の福祉増進のために新しい郷土をめざして再発足したことは誠に御同慶に堪えません。この点からまさに本年は、内に地方行政史上における一大転換を迎え、外に国際的舞台へ飛躍すべき重大な年といえましよう。

そこで私たちは、まず産業規模の拡大や設備の近代化と経済安定の理論的調整を計つて、完全雇傭と生産力の増強や輸出の増加を確保することが絶対に必要であり、他面消費生活の合理化と堅実化によつて国民所得と生活水準の向上を計らなければなりません。

そのためには、戦後十年間における経済的、社会的事情の推移と現状を正確、迅速に掌握して、科学的立場から慎重な分析を行い、一日も早くインフレのない経済発展の合理的な綜合計画を樹立推進しなければならないと思います。私たちの関係する調査統計事業の重要使命もここに倍加され、ますますその責任を痛感する次第であります。また町村合併後における新市町村建設計画の樹立調整のためにも、その他地域内の基本的実態を調査して各自治体における財政力の増強と経常費の節減に努め、住民の福祉増進を計る諸施策を重点的かつ効果的に実施しなければなりません。そこに初めて住民自らの手によつて、明るく住みよい郷土が着実に作り上げられるのであります。私たちは、今後も新市町村を中心とする調査統計機能の強化に努め、統計をして真に自治体発展の礎石たらしめたいと思います。

どうか皆様には、近代国家における統計の持つ意義と使命をよく自覚して、、広く知識を求め、技術を磨き、一般県民に対しても統計思想の理解と関心を深めるようにたゆまぬ努力をつづけ、本県の調査統計事業の改善発展のため、なお一層の御活躍を下さるように、心からお願い申上げて年頭のあいさつといたします。